

中期標準化戦略(概要と目的)		専門委員会・AG名	3GPP専門委員会	1/3
企画戦略委員	中野 裕介（KDDI）、 榮 浩三（ドコモ）		登録委員数	77名（6グループ） /14メンバー
正副委員長 リーダー・サブ	委員長 田村 利之（NEC）、副委員長 本多 美雄（エリクソン）		図解 （別紙）	
活動の目的・意義	3GPPが策定した技術仕様書は、別紙で図解した7つのOPが国内（地域）標準としてダウンストリームすることにより正式な標準としての効力を持つ。したがって、国内標準策定のため、さらにITU勧告等からの参照のために、TTCダウンストリーム作業の承認母体としての役割を担う。 3GPPの主にアーキテクチャ、コアネットワークに関するワークアイテム・スタディアアイテムの状況共有と、技術仕様策定グループ（TSG）レベルの会合状況の共有等を実施し、メンバー企業の標準化戦略策定、製品開発に資する。			
活動する上での課題	特に無し。			
関連のSDGsゴール				
標準化方針	3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する、情報共有と意見交換及び関連技術の議論。 3GPPで承認された仕様を、TTC標準として制定（ダウンストリーム活動）、またITU-T/Rへ勧告化を提案。 - 年4回（6,10,12,3月）の専門委員会会合の開催、及び年4回(6, 10, 12, 3月)の3GPP仕様書ダウンストリーム・TTC仕様書制定を予定。 3GPP Release 14～Release 16の3つのリリースを跨いで検討されてきた3GPP 5G仕様が完成する時期となるため、5Gの普及に向けた検討を実施する。 - 更に、従来の移動体通信のみにとらわれず、異業界に対しても積極的な5Gの普及を後押しする。			
国内外 標準化団体動向	<u>他国内標準化組織との連携による移動通信標準化作業の活性化と促進</u> - 移動通信市場の活性化、更に異業界における5Gの活用に対して、必要な仕様の標準化に対応する。 - ARIB、CIAJなどの国内通信関連標準化組織との連携やTTC内関連専門委員会との連携を図り標準化活動を進めて行く。 <u>海外の関連標準化組織との連携</u> - ITU-T/R, IEEE, BBF, OMA, GSMA等との連携に配慮する。			
関連する 専門委員会	- 移動通信網マネジメント専門委員会 - PCG/OP会合の対処方針について、ARIBの対応組織とも連携して検討を進め、OP代表者への指針とする。 3GPPの仕様策定上必要な内外の関連組織との連携・調整を推進する - Network Vision専門委員会 5G標準化連携連絡会を通じて、5G標準化対応の相互連携・協調を図る - 信号制御専門委員会（SIP SWG） 3GPP SIP仕様の検討状況を共有し、IMS事業者網間相互接続インタフェース）等、SIP信号に関する国内標準策定を支援する。			

重点取り組み	3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論。 3GPPで承認された仕様を、TTC標準として制定（ダウンストリーム活動）、またITU-Rへ勧告化を提案。 - 年4回の専門委員会会合の開催、及び年4回（6,10,12,3月）の3GPP仕様書ダウンストリーム・TTC仕様書制定を予定。 5Gの普及を狙いTTCセミナー開催に関する検討を加速。			
主な活動項目	概況指標	2018年度目標（当初計画時）	2018年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への 参加・連携状況	3GPP	3GPP TSG会合(6, 9, 12月及び3月) PCG#41/OP#40幕張会合 (SHARP会場; ARIBと共催)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件	0件	
③ ダウンストリーム	数	TS/TR：4回	ダウンストリーム制定 4月13日実施(Rel14新規制定) (TS 689件、TR 36件) 6月29日実施(TS 91件、TR1件) 9月28日実施(Rel15新規制定) (TS 714件、TR 36件) 12月21日実施 (TS 220件、TR 5件) 3月29日実施予定 (TS240案件、TR3案件)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	ワークアイテム・スタディアアイテム動向調査のTTC 内への展開	2018年10月17日(水) CEATEC2018コンファ レンス（3GPP、総務省、ARIBと共催） 「3GPPサミット5Gの実現・利活用に向けたコラボ レーション ～5G標準化の最前線～」を開催	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	ITUジャーナル1月号寄稿（3GPPサミット報告） TTCLレポート活動報告 (FFG/PCG/OP会合報告、3GPPサミット報告)	

重点取り組み	3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論。 3GPPで承認された仕様を、TTC標準として制定（ダウストリーム活動）、またITUへ勧告化を提案。 - 年4回の専門委員会会合の開催、及び年4回（6,10,12,3月）の3GPP仕様書ダウストリーム・TTC仕様書制定を予定。 - 移動通信網マネジメント専門委員会と綿密に連携して、5Gの普及、Release16の啓発を狙いTTCセミナー開催、さらには、関連業界誌への寄稿、イベントでの講演等を検討。			
主な活動項目	概況指標	2019年度目標（当初計画時）	2019年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-		
	外部会合への 参加・連携状況	3GPP TSG会合（4回）		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件		
③ ダウストリーム	数	TS/TR：4回（四半期毎） 2019年度末にRel16が凍結され、引き続いて ダウストリーム仕様制定作業開始（見込）		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・移動通信網マネジメント専門委員会と連携して、3GPP/5Gの最新技術動向、業際の5G導入事例・動向の「見える化」施策を検討。 →関連業界のイベントへの参加、講演のベースとする。 ・3GPPの最新状況に関する解説セミナー実施		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討する。		

別紙

3GPPは、7標準化団体のパートナーシッププログラムである。3GPPが作成する技術仕様及び技術レポートを、TTCを含むこれら標準化団体（パートナー）はダウンストリームして、その標準等の正式文書とする。またパートナー通じて各企業は3GPPの作業に参加する。

